

臨床研究に関する情報公開

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞ 転移性脊椎腫瘍における術後の神経予後に影響する術前因子の検討をする研究
＜研究機関・研究責任者名＞ 日本大学医学部附属板橋病院 整形外科 (研究責任者)松本光司
＜研究期間＞ 承認日 ～ 西暦 2021年 12月 31日
＜研究の目的と意義＞ 転移性脊椎腫瘍の手術の適応はまだわかっていないことが多くあります。そこで、本研究の目的は転移性脊椎腫瘍に対する手術療法において神経の状態に影響を及ぼす術前因子を検討することです。この結果により手術効果が十分でないと予想できる患者さんは手術を避けて、ほかの最善の治療を受けることができます。
＜利用する試料・情報の項目＞ 利用する試料・情報の項目は、検査データ、診療記録、画像検査になります。
＜対象となる患者さん＞ 日本大学板橋病院整形外科 2014年3月から2020年4月までに転移性脊椎腫瘍に対して手術を受けられた患者さんです。当院では転移性脊椎腫瘍に伴う頸部痛や腰背部痛や神経痛や麻痺を認め日常生活動作に支障が出ている、あるいはそのような状態が切迫している際は、全身状態が手術に耐えられる状態であれば積極的に手術を試行しています。
＜研究の方法＞ 以前に作成された診療録と各種画像検査結果を用いて、統計学的検討を行い、神経の状態に影響を及ぼす術前因子を統計学的に検出します。
＜お問い合わせ窓口＞ 日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町30-1) 整形外科 氏名:松本光司 電話:03-3972-8111 内線:(医局)2493 (PHS)8723